

各位

2013年8月9日

KNT-CTホールディングス株式会社
総務部(広報) 担当:立花
TEL:03-6891-6839

旅行取扱状況の概観(平成25年6月分)

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、KNT個人旅行販売、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事、KNTアジア、の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比88.9%、学生団体は同88.5%と前年を下回った結果、団体旅行合計で同88.8%であった。企画旅行については、東アジア方面をはじめとして不振であり、前年比89.1%であった。個人旅行については、前年比89.0%であった。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比89.0%と前年を下回る結果となった。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比102.4%、学生団体は同97.4%となり、団体旅行合計で前年比99.3%とほぼ前年と同水準であった。企画旅行については前年を上回り111.1%、個人旅行については97.7%であった。

この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比104.3%と前年を上回る結果であった。

外国人旅行は、前年比107.0%と前年を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の6月の総取扱額は、前年比98.7%となった。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、一般団体は昨年大型のインセンティブ団体を複数取扱った反動もあり、前年比89.4%、学生団体は同88.5%であった。海外団体旅行合計で同89.3%と前年を下回った。

国内団体については、学生団体は前年比97.5%であった一方で、一般団体は企業需要が回復傾向にあり、同103.2%と前年を上回った。国内団体旅行合計で同99.7%と前年と同水準であった。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトは、取扱人数で前年比99.2%、取扱額で前年比101.8%とほぼ前年どおりであった。方面別取扱人数の状況では、首都圏、伊勢志摩、中国四国方面などが前年を大きく上回ったほか、東北、中部方面などが好調である。

ホリデイは、販売割合が高い東アジア方面を中心として全般的に不調であり、取扱人数、取扱額とも前年を下回った。特に中国方面については引き続き大きく低迷している。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、中国・東アジア等が不調である一方で、ヨーロッパ方面等が好調であり、部門全体では前年とほぼ同水準であった。

バス旅行を除く国内旅行部門は前年比110.7%と好調を維持している。特に出雲大社遷宮効果が続く中国方面や立山黒部アルペンルートなどが好調であった。

バス旅行部門は、東北、伊豆、伊勢方面をはじめとして好調であり、前年比126.3%と大きく上回った。テーマ旅行部門は登山・ハイキングをはじめとして好調であり、前年比122.1%と大きく伸長した。

以上